**GP　C班議事録　5月25日**

中間発表を受けて、、、

➡教師の労働時間の多さに問題意識＝当たり前？

プラクティカルプロブレム　教師の負担が多すぎるんじゃないか？

リサーチクエスチョン　じゃあ今どこまでのことがなされているのか？

➡なされている方策の何が問題なのか？

・なされている方策を挙げる！

・その中でも、班はICT教育に着目した！

（理由づけ集中）妥当性をしっかりと付ける

ICT教育が今どんな状況なのか

デメリット

・時間の確保ができない➡これって、教員の多忙さを軽減することを妨げている？

・教員の研修

・教員の活用スキルの格差

➡**仮説：ICT教育の導入では、その解決にはならない！**

この仮説を証明するために、班は検証を行う。

★海外比較

今後の流れ

調べること

＊・今なされている方策・結果も含め、幅広く集める

（3人：萩原・高橋・渕井）

ICT教育の現状（2人：井上・横井）

＊文献レベルで調べる

＊自治体とかでのレベルでの、具体的な取り組み内容を調べて分析する

➡デメリットを挙げる

1. ICT教育に着目する妥当性を証明する

今なされている多くの方策が教員の負担を軽減する効果を発揮していることを証明

これはまだ、ICTのせいだけと決めつけない！

＊海外でICT教育が推進され、うまくいっている国を調べる（2人：岡野、金澤）

その国と比べることで、日本のICT教育の課題を改めて浮き彫りにする

示唆で、どうすれば改善できるか、改善すればそもそものプラクティカルプロブレムが改善の方向に向かうか　を提示して終わる？